

サポートブック クイックマニュアル

- - - サポートブックとは - - -

「一貫した支援が期待できるものを」

社会自立をめざす障害をもつ人にとって、支援の一貫性は必要不可欠です。『サポートブック』がみんなに活用されることは、特に自閉症の人にとって心強いものとなるでしょう。また『サポートブック』を通して、支援ネットワークの拡がりも期待できます。

「プラスな情報を」

障害のある人にとって不利益な情報となってしまうはいけません。本人の実態ですから、当然「～ができない」「～することが難しい」といった記述もありますが、その後「こうやったらうまくいく」支援のヒントが書かれてあれば、それは有益な情報となるでしょう。

「必要最低限の情報を」

学校で考えられるベストな支援(構造化のアイデアやコミュニケーションのとり方など)を外部へと引き継ぐ場合、情報は必要最低限で構いません。なぜなら、受け入れ先には、そこでの文化があるからです。移行で一番大事なのは、文化のすり合わせです。支援のヒントを受け入れ先で活用してもらいましょう。

「クイックなサポートができるものを」

見やすく使いやすいものの方がいいでしょう。支援で一番有効なのは人的サポートですが、それには限界があります。『サポートブック』は、一番の支援者がいなくて困った時に使われる物です。さっと出してすぐヒントが得られるものが、障害のある人と支援者にとってはありがたいでしょう。

―― サポートブックの作り方 ――

1．項目選び

『サポートブック項目表』から必要最低限の項目を選んで下さい。子どもの実態によって、項目数はかわります。必要に応じて選んで下さい。

『サポートブック項目表』は、受け入れ先での見やすさを考慮して、「引き継ぎ表」の項目名が変更になったり、2つ以上の項目を重ねたものとなっています。

『サポートブック項目表』は、後に添付してあります。

2．作成

入力スタイル

- ・ A 4 袋と同じ形式で入力します。字体やフォントサイズは自由です。

内 容

- ・ 受け入れ先において「これが困るだろう！」から「こうしてかかわって下さい」とか「こうやって教えればうまくいく！」といった支援のヒントを書きおきます。
- ・ 専門的な記述は避け、「実態」と「かかわり方」をわかりやすく書きましょう。
- ・ 特にかかわり方（具体的な手だて）についての記述が多くあった方がいいでしょう。
- ・ 項目がわりと多いので内容が重複することもあります。『*』の項目を参」とリンクさせて記入しておけば見やすいでしょう。
- ・ イラストや写真（パニックの状態、ジグ、サイン言語表など）をできる限り載せておきます。
- ・ 「ネットワーク」の項目には学校や担任の連絡先、身体面で特に配慮の必要な人はかかりつけの病院の連絡先などを載せておきます。

優先順にファイルに差し込みます。

「サポートブックについて」「プロフィール」各項目「実習歴」最後に「ネットワーク」の順番にしておきます。

ファイルは裏表1ページを1項目とします。

項目ごとにタグをつけます。

3．本人・保護者に確認

本人・保護者の方に見てもらいます。必要があれば、加筆・修正を行ってもらいます。そのままでもよいですが、時間的な余裕があればパソコン処理してもいいでしょう。

4．提供

打ち合わせの時（契約締結時）から受け入れ時までが適切です。

提供にあたっては、あらかじめみんなに読んでもらえるようお願いします。

- ・ 一貫した支援のためのヒント（具体的なかかわり方）が書かれてあることを伝えます。
- ・ いつも見てもらう必要はありません。困ったときに見てもらうよう伝えます。

5 . 加筆と修正作成

受け入れ先での変化やもっと有効な支援が見つかった場合には ,加筆・修正を行います。
(支援のあり方の評価につながります)

原則として担当教員が行います。聞き取りの上 ,行ってもかまいません。

- ・不在の時には ,受け入れ先の担当者に無理のないようにお願いしましょう。
- ・手書きで十分です。

受け入れ先から知りたい情報があった場合には ,後で書き加えておきます。

- ・その場にいれば ,まず口頭で情報提供して下さい。

6 . 保管

原則として本人・保護者の方が保管します。

7 . 提供時期

居宅支援サービスを利用するときや地域の活動に参加するとき
学校卒業の時は ,進路先に同行させます。

サポートブック項目表

サポートブック項目	
特 性	コミュニケーション
	パニック
	こだわり
	過敏なこと
	対人関係
	不適応行動
	危険なこと
	社会のマナー
学 習	作業能力
	興味・関心
	学力
身 体	姿勢・運動
	医療情報
	衛生・清潔
	性
一 日 の 流 れ	交通機関の利用
	着替え
	トイレ
	余暇（休日の余暇利用も含む）
	食事
	歯磨き・洗面
	掃除
必 須	サポートブックについて
	プロフィール
	実習歴
	ネットワーク

項目数は児童・生徒の実態に応じて決定して下さい。必要最低限でOKです。
優先順位は児童・生徒の実態に応じて決定して下さい。項目表の順番どおりでなくてもOKです。